

# 書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの新刊

『お元気部屋へようこそ』  
作／安田夏菜 絵／紙谷俊平  
出版社／小学館

この瞬間の心や感覚を、あなたの言葉で表してみませんか?心の中を言葉で表現するためのポイントが分かりやすく、まとめてあります。詩の入門書として、大人にもおすすめです。



『中高生のための詩のつくりかた』  
監修／久谷雉  
出版社／メイツユニバーサルコンテンツ

行けば不思議と元気になるお元気部屋。ある日、お元気部屋に大ピンチが訪れます。笑えるお話を好きな子やちょっと落ち込んでいて元気を出したい子に読んでほしい、笑いあり、涙あり、オチありの落語調人情話です。



『『ゆきんこのレストラン』』  
作／ながしま ひろみ  
出版社／小学館

『犯人に告ぐ 4』

著／栗井 脩介  
出版社／双葉社

冬の日、なっちゃんは雪が積もった森の奥で、氷でできたドアをみつけました。中からあらわれた女の子は、「ゆきんこのレストランへようこそ」と言います。なっちゃんは、そのレストランの初めてのお客さんになりました。



『図解いちばんやさしく丁寧に書いた青色申告の本 '26年度』

監修／千代田タックスパートナーズ  
出版社／成美堂出版

フリーランス、個人事業者のための青色申告の入門書です。青色申告することでトクする7大ポイント、「帳簿つけ」の基本、帳簿ケーススタディ、必要経費の範囲、決算・確定申告までを豊富な図版でわかりやすく解説しています。



『秀吉の血筋』

著／近衛 龍春  
出版社／実業之日本社

御次秀勝、小吉秀勝、関白豊臣秀次、宇喜多秀家、そして豊臣秀頼。嫡子・養子の差こそあれ、秀吉の子どもとして過ごした彼らの葛藤と失意、栄光と没落の生涯が込められた一冊です。



## 図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会（おはなしのへや）	8日(日)・15日(日)・22日(日)午後2時～
	赤ちゃんおはなし会（おはなしのへや）	11日(水・祝)・25日(水)午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」（未来創造館ホール） 『人生は美しい』（韓国・字幕:123分）	14日(土)・26日(木) 午後2時～
	ライブラリーコンサート（平戸図書館） ■今月は、「裕子セッションズ」の皆さんによる70～80年代の洋楽・邦楽のカバー（予定）をお届けします。どうぞお楽しみに。	28日(土) 午後7時～
	おはなし会（永田記念図書館） 脳トレ教室（永田記念図書館）	7日(土)・21日(土)・28日(土)午後2時～ 2日(月) 午前10時～

今月の休館日 平戸図書館：蔵書点検 1月26日(月)～2月6日(金)  
永田記念図書館：3日(火)・9日(月)～14日(土)・17日(火)・22日(日)・24日(火)

## 各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎22-9182
南部公民館図書室	☎22-9191
生月図書室	☎22-9202
田平町中央公民館図書室	☎22-9211
大島村公民館図書室	☎55-2511

## 図書館ホームページ

<http://www.hirado-lib.jp>  
スマートフォンなどから二次元コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



## まち協トピックス 2月のイベント情報をピックアップ

2月のまち協の取り組みにご注目ください!

### ◆ひな飾り展示

とき 2月13日(金)～3月15日(日)

ところ 津吉郵便局・津吉郵便局前休憩所・こたのさと・幸福堂医院・多目的研修センター・津吉商船・旧住福商店・前津吉郵便局・旧早福へき地保育所・早福荘(会場ごとに展示日が異なります)

津吉地区内の各施設において、ひな飾りの展示を行います。中学生が詠んだ俳句も掲示しますので、お誘いあわせのうえ、ご来場ください。



津吉地区まちづくり運営協議会 ☎27-0611



中野地区まちづくり運営協議会 ☎22-7445

※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。



## 平戸市の自然や文化、歴史的遺産の魅力を紹介 平戸学講座 vol.14

### 平戸にはいつから人は住んだのか?

平戸にはいつから人が住み始めたのかという問題に一石を投じたのは、1999年～2003年に発掘調査が行われた入口遺跡（下中野町）です。石材はメノウ質で、比較的鋭利に割れやすいものです。出土した地層を科学的に測定した結果、約9万年前という数値が出ました。この数値は今まで平戸で出土したどの石器よりも古いものでした。また日本列島の中でも古いものでした。

2000年に発生した旧石器捏造事件（古い地層に新しい石器を埋めていた事件）で、考古学界隈は混乱していました。まさにその時に発見された同遺跡は大変な話題となり、現在でも研究者の間では研究の素材として挙がっています。今後も他地域の研究が進み、比較研究できればより確かなことが判明していく事と思われます。

問 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143



### 平戸学オンライン

ホームページ



Instagram



YouTube

